

被災地取材していた報道関係者からの 新型コロナウイルス感染症の感染確認について

7月16日（木）、本県50例目（熊本市を除くと10例目）となる新型コロナウイルス感染者が確認されました。

感染者は、発熱、咽頭痛等の症状があり、同日、県内の感染症指定医療機関へ入院されました。

この方は、7月13日（月）に来熊し、15日（水）までの期間、八代保健所管内及び人吉保健所管内で取材活動を行っていたことが確認されています。

熊本県では、濃厚接触者の把握を含めた積極的疫学調査を確実にを行い、感染拡大防止に努めて参ります。

県民の皆様におかれましては、まずは落ち着いて行動いただくとともに、日常的な予防である咳エチケットや手洗いのほか、新しい生活様式の実践の徹底をお願いします。

1 感染者について

- (1) 年代・性別 30歳代・男性
- (2) 居住地 神奈川県
- (3) 職業 報道関係者
- (4) 行動歴 八代市、人吉市、球磨村、相良村、多良木町で取材活動（詳細は別紙）
- (5) 濃厚接触者 2人 同僚1人、タクシー運転手1人

※取材は主に写真撮影であり、取材対象への濃厚接触はなし

2 被災地で活動される全ての方へのお願い

- ・活動前の体調の確認と、体調不良時の活動自粛
- ・マスク着用、手洗い、人との距離の確保等の基本的な感染防止対策の徹底
- ・「被災地で活動する際の感染防止対策チェックリスト」の活用

今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、感染者、御家族のプライバシーに格段の御配慮をお願いします。

健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：上野、山田、楠田
電話：096-333-2630（内線5935）

各報道機関 御中

被災地において活動される皆様へのお願い

各報道機関におかれましては、今般の豪雨災害に関する情報発信を通じた被災者支援に御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

県としましては、人命を最優先に、被害の最小化に向け、全力で取り組んでいます。

とりわけ、今般の災害対応に当たっては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、その防止対策に万全を期している中、応援職員の1名の方が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

つきましては、今後の災害対応を円滑に進めるため、訪問前に体調の確認を行っていただくとともに、本県の被災地において支援活動に従事いただく際には、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」、「人と人との距離の確保」等の基本的な感染防止対策や、日常的な検温等の健康管理を徹底していただきますよう、改めてお願いいたします。

令和2年7月13日

熊本県知事 蒲島 郁夫

令和2年（2020年）7月17日

報道機関各社 様

熊本県知事 蒲島 郁夫

被災地での活動における新型コロナウイルス感染症対策に係るチェック
シートの活用について（依頼）

各報道機関におかれましては、今般の豪雨災害に関する情報発信を通じた被災者支援に御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本県では、「令和2年7月豪雨」の支援活動等に従事される方が、被災地で安心して活動できるよう、また、支援を受ける被災住民等も安心して受入を行うことができるよう、別添のとおりチェックリストを作成しました。

先般、報道機関の皆様には、7月13日付けで、被災地において活動される際の基本的な感染防止対策や、日常的な検温等の健康管理の徹底をお願いしたところですが、その一環として、報道機関の皆様が被災地において取材活動に従事される場合には、このチェックリストを活用いただき、健康状態の確認と、感染防止対策のチェックを行っていただきますようお願いいたします。

【お問合せ先】

熊本県知事公室広報グループ

佐方、工藤（内線3131）

電話 096-333-2026

被災地で活動する際の感染防止対策チェックリスト

記入日： 月 日

氏名：

住所：

連絡先（電話番号）：

被災地での活動期間： 月 日 ~ 月 日

1 健康状態

■ 体温 _____ 度

■ 味覚・嗅覚の異常 あり ・ なし

■ 咳・倦怠感等の症状 あり ・ なし



換気をするモン
#OpenWindow



くっつかないモン
#KeepDistance



手を洗うモン
#WashHands

©2010熊本県くまモン

2 感染防止対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、被災地で活動する際には、次の点に留意します。 ※以下にチェックをお願いします。

- マスクを着用します。
- 休憩時間などは、人と人との距離をできるだけとります。
- 食事の前やトイレの後、作業後や屋内への出入の際などは、こまめな手洗いや手指消毒を行います。
- 体調管理をしっかり行い、症状が出た場合は作業を控えます。
- 屋内作業の際は、換気に留意します。

「被災地等で活動される皆様へ」の内容も、十分に確認してください。

被災地等で活動される皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策のため、次の点に御留意ください。

活動場所での留意事項

1 熱中症対策のため、適宜マスクを外しましょう

- ・熱中症対策のため、屋外などで周囲の人と十分な距離が取れ、マスクを外せる場合には、適宜マスクを外しましょう。
ただし、大声を出す必要があるときにはマスクの着用が望ましいです。
- ・また、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をするなど、熱中症には十分に気を付けましょう。

2 人と人との距離をできるだけとりましょう

- ・休憩時間には他者との距離を空けるなど、人と人との距離をできるだけとりましょう。

3 こまめに手を洗いましょう

- ・食事の前やトイレの後、活動後や屋内への出入の際など、こまめに手を洗いましょう。
水が出ない場合はアルコール等で手を消毒しましょう。



くっつかないモン
#KeepDistance



手を洗うモン
#WashHands

©2010熊本県くまモン

その他留意事項

1 接触確認アプリを活用してください

- ・万が一被災地において感染者が確認された場合、迅速に濃厚接触者を特定するため、国がリリースした接触確認アプリを積極的に活用してください。

2 体調管理をしっかり行い、症状が出た場合は活動を控えましょう

- ・基本的に毎日検温しましょう。
- ・被災地で活動された日時等を記録しておき、発熱等の症状が出た場合は活動を控え、専用のコールセンター（096-300-5909）に連絡しましょう。

連絡先：熊本県健康危機管理課 096-333-2478

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお願いします

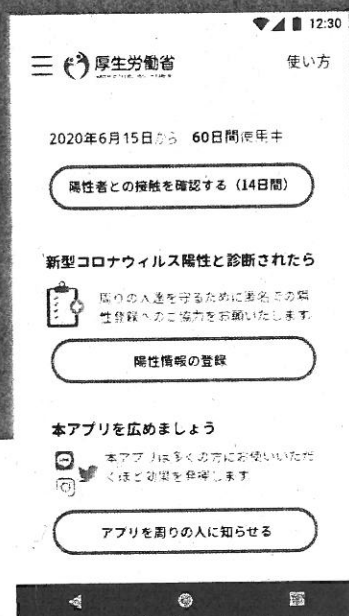
自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省

新型コロナウイルス 接触確認アプリ

(略称：COCOA)

COVID-19 Contact Confirming Application

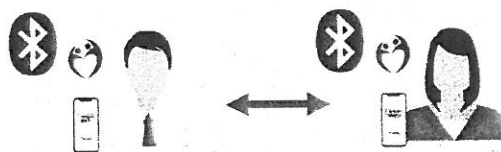


*画面イメージ

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の
感染者と接触した可能性について、通知を受け取る
ことができる、スマートフォンのアプリです

- 本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



- ・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはなりません
- ・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません
- ※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
- ※記録は14日経過後に無効となります
- ※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
- ※ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら

厚生労働省
ウェブサイト

